



## 2010年「タイヤ点検結果」の報告

(社)日本自動車タイヤ協会(会長 中倉 健二)は、都道府県警察、運輸支局、東日本・中日本・西日本の各高速道路株式会社(旧 JH)、自動車及びタイヤ関連団体と協力し、2010年(1月~12月)に全国で33回の路上タイヤ点検を実施し、このほどその結果をまとめましたので、ここに発表いたします。

### 【タイヤ点検結果の概要】

タイヤ点検を行った車両は、高速道路(含、自動車専用道路)1,261台、一般道路642台の合計1,903台で、これらの車両のタイヤ整備状況は次の通りです。

なお、本タイヤ点検結果の概要及び2009年対比は、別表1~3に示しました。

### 1. タイヤ点検の概要(表-1)

タイヤ点検の結果、表-1の通り、点検車両1,903台のうち、タイヤに整備不良があった車両は604台、不良率31.7%となっており、2009年点検結果に比べ1.3ポイントの増加となっています。尚、道路別にみると、高速道路のタイヤ整備不良率は24.8%で6.1ポイントの減少、一般道路では45.3%で15.6ポイントの増加という結果となっています。

表-1 タイヤ点検の概要

項目	年	2010年			参考(2009年)		
		高速道路	一般道路	合計	高速道路	一般道路	合計
点検回数(回)		20	13	33	18	14	32
点検車両A(台)		1,261	642	1,903	1,432	832	2,264
タイヤ整備不良車両B(台)		313	291	604	442	247	689
不良率B/A(%)		24.8	45.3	31.7	30.9	29.7	30.4
対前年増減		-6.1	15.6	1.3	-	-	-

### 2. 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳(表-2)

タイヤの整備状況を項目別にみると表-2の通り、不良率1位は「空気圧不適正」で23.7%、次いで「偏摩耗」3.9%「タイヤ溝不足」2.9%の順となっています。

不良率を2009年の結果と比較すると、「空気圧不適正」は4.3ポイント、「釘・異物踏み」は0.2ポイントそれぞれ増加となっているものの、「偏摩耗」は2.9ポイント、「タイヤ溝不足」は1.6ポイント、それぞれ減少しています。

また、道路別でみた不良率を2009年の結果と比較すると、高速道路では「外傷」、「釘・異物踏み」以外の項目では減少しています。一方、一般道路では「タイヤ溝不足」は1.0ポイント、「偏摩耗」は0.7ポイントそれぞれ減少していますが、それ以外では「空気圧不適正」の18.3ポイントの増加等が見られます。

表-2 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳

年 区分 項目	2010年						対2009年増減		
	高速道路		一般道路		合 計		高速道路	一般道路	合 計
	件数	%	件数	%	件数	%			
タイヤ溝不足	39	3.1	16	2.5	55	2.9	-1.9	-1.0	-1.6
偏摩耗	38	3.0	37	5.8	75	3.9	-4.1	-0.7	-2.9
外 傷	5	0.4	3	0.5	8	0.4	0.0	0.1	0.0
釘・異物踏み	10	0.8	2	0.3	12	0.6	0.1	0.3	0.2
空気圧不適正	191	15.1	260	40.5	451	23.7	-2.6	18.3	4.3
そ の 他	59	4.7	89	13.9	148	7.8	-0.5	9.7	3.0
計	342	—	407	—	749	—	—	—	—

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

(内訳 空気圧不足:314件 空気圧過多:137件)

注) 3. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアを含む。

### 3. 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳(表-3)

タイヤの整備状況を車両グループ別に見ると、表-3の通り「乗用車」の34.8%(09年結果に比べ4.2ポイント増加)、「貨物車」18.9%(同、-11.7ポイント減少)となっております。

「特種車」を含めた全体では、2009年の結果に比べ1.3ポイント増加となっております。

グループ別の整備状況としては、「乗用車グループ」で、普通乗用(3)、小型乗用(5.7)、軽(5.7)がそれぞれ増加、また「貨物車グループ」では、普通貨物(1)、小型貨物(4)が減少となっております。

表-3 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳

車 種	点検車両(台)	不良車両(台)	不良率(%)	対2009年増減	
乗 用 車	普通乗合(2)	31	4	12.9	-14.6
	普通乗用(3)	399	138	34.6	4.1
	小型乗用(5.7)	822	260	31.6	2.0
	軽(5.7)	254	122	48.0	14.3
	小 計	1,506	524	34.8	4.2
貨 物 車	普通貨物(1)	102	18	17.6	-19.5
	小型貨物(4)	200	33	16.5	-11.6
	軽(4.6)	79	21	26.6	0.2
	小 計	381	72	18.9	-11.7
特種(8)	16	8	50.0	30.0	
合 計	1,903	604	31.7	1.3	

注) ( )内数字は、車種ナンバーを示す。

#### 4. 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳（表-4）

車両グループ別・項目別ワースト1位は表-4の通り、乗用車、貨物車共に「空気圧不適正」となっており、不良率はそれぞれ乗用車28.2%、貨物車6.8%となっています。

表-4 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳

車種	項目	タイヤ溝不足		偏摩耗		外 傷		釘・異物踏み		空気圧不適正		そ の 他		合計
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	
乗用車	普通乗合(2)	0	0.0	4	12.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.2	4
	普通乗用(3)	11	2.8	11	2.8	2	0.5	1	0.3	115	28.8	25	6.3	165
	小型乗用(5.7)	15	1.8	26	3.2	6	0.7	4	0.5	207	25.2	73	8.9	331
	軽(5.7)	6	2.4	18	7.1	0	0.0	0	0.0	103	40.6	35	13.8	162
	小 計	32	2.1	59	3.9	8	0.5	5	0.3	425	28.2	134	8.9	663
貨物車	普通貨物(1)	7	6.9	5	4.9	0	0.0	2	2.0	1	1.0	3	2.9	18
	小型貨物(4)	5	2.5	6	3.0	0	0.0	2	1.0	15	7.5	7	3.5	35
	軽(4.6)	7	8.9	3	3.8	0	0.0	1	1.3	10	12.7	4	5.1	25
	小 計	19	5.0	14	3.7	0	0.0	5	1.3	26	6.8	14	3.7	78
	特種(8)	4	25.0	2	12.5	0	0.0	2	12.5	0	0.0	0	0.0	8
	合 計	55	2.9	75	3.9	8	0.4	12	0.6	451	23.7	148	7.8	749

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。

(内訳 空気圧不足：314件 空気圧過多：137件)

注) 3. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアを含む。

#### 【まとめ】

今回の結果をみると、「空気圧不適正」が2009年結果に比べ4.3ポイント増加し、整備不良率でワースト1位(23.7%)となっています。

また、「タイヤ溝不足」、「偏摩耗」は、減少しています。

当会では今後も引き続き「4月8日タイヤの日」をはじめとした、年間を通してのタイヤ点検実施に加え、タイヤ使用管理リーフレット配布等の安全啓発活動を展開していくこととしています。

本件に関するお問い合わせ先  
 技術環境部 : 柴田  
 電話 03-3435-9092

1. 2010年（1-12月）路上タイヤ点検結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

点検項目		年別		2009年						2010年																					
		道路別		高速道路		一般道路		計		高速道路		一般道路		計																	
										対前年増減		対前年増減		対前年増減																	
点検回数（回）				18		14		32		20		2		13		-1		33		1											
点検車両A（台）				1,432		832		2,264		1,261		-171		642		-190		1,903		-361											
タイヤ整備不良車両B（台）				442		247		689		313		-129		291		44		604		-85											
不良率B/A（%）				30.9		29.7		30.4		24.8		-6.1		45.3		15.6		31.7		1.3											
件数・不良率		件数		不良率		件数		不良率		件数		不良率		件数		不良率		件数		不良率											
												%				増減				%		増減		%		増減					
タイヤ整備不良の内訳	タイヤ溝不足	72		5.0		29		3.5		101		4.5		39		3.1		-1.9		16		2.5		-1.0		55		2.9		-1.6	
	偏摩耗	101		7.1		54		6.5		155		6.8		38		3.0		-4.1		37		5.8		-0.7		75		3.9		-2.9	
	外傷（コードに達するもの）	6		0.4		3		0.4		9		0.4		5		0.4		0.0		3		0.5		0.1		8		0.4		0.0	
	釘・異物踏み	10		0.7		0		0.0		10		0.4		10		0.8		0.1		2		0.3		0.3		12		0.6		0.2	
	空気圧不適正	254		17.7		185		22.2		439		19.4		191		15.1		-2.6		260		40.5		18.3		451		23.7		4.3	
	その他	74		5.2		35		4.2		109		4.8		59		4.7		-0.5		89		13.9		9.7		148		7.8		3.0	
	計	517		-		306		-		823		-		342		-		-		407		-		-		749		-		-	

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良（項目）がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率：「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。（内訳 空気圧不足：314件 空気圧過多：137件）

5. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアを含む。

2. 2010年(1-12月)路上タイヤ点検・車種別項目別結果

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目		点検車両 (A)	タイヤ整備 不良車両 (B)	不良率 (%) (B/A)	タイヤ整備不良の項目内訳												計
	車種No.					タイヤ溝不足		偏摩耗		外 傷 (コードに達するもの)		釘・異物踏み		空気圧不適正		その他		
	件数	不良率				件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	31	4	12.9	0	0.0	4	12.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.2	5
		普通乗用(3)	298	86	28.9	7	2.3	8	2.7	1	0.3	1	0.3	64	21.5	11	3.7	92
		小型乗用(5.7)	593	130	21.9	9	1.5	8	1.3	4	0.7	3	0.5	89	15.0	33	5.6	146
		軽(5.7)	100	33	33.0	2	2.0	6	6.0	0	0.0	0	0.0	20	20.0	7	7.0	35
		計	1,022	253	24.8	18	1.8	26	2.5	5	0.5	4	0.4	173	16.9	52	5.1	278
	貨物車	普通貨物(1)	56	13	23.2	7	12.5	4	7.1	0	0.0	1	1.8	1	1.8	0	0.0	13
		小型貨物(4)	127	26	20.5	5	3.9	5	3.9	0	0.0	2	1.6	10	7.9	4	3.1	26
		軽(4.6)	43	14	32.6	6	14.0	1	2.3	0	0.0	1	2.3	7	16.3	3	7.0	18
		計	226	53	23.5	18	8.0	10	4.4	0	0.0	4	1.8	18	8.0	7	3.1	57
	20回	特種(8)	13	7	53.8	3	23.1	2	15.4	0	0.0	2	15.4	0	0.0	0	0.0	7
合計		1,261	313	24.8	39	3.1	38	3.0	5	0.4	10	0.8	191	15.1	59	4.7	342	
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	101	52	51.5	4	4.0	3	3.0	1	1.0	0	0.0	51	50.5	14	13.9	73
		小型乗用(5.7)	229	130	56.8	6	2.6	18	7.9	2	0.9	1	0.4	118	51.5	40	17.5	185
		軽(5.7)	154	89	57.8	4	2.6	12	7.8	0	0.0	0	0.0	83	53.9	28	18.2	127
		計	484	271	56.0	14	2.9	33	6.8	3	0.6	1	0.2	252	52.1	82	16.9	385
	貨物車	普通貨物(1)	46	5	10.9	0	0.0	1	2.2	0	0.0	1	2.2	0	0.0	3	6.5	5
		小型貨物(4)	73	7	9.6	0	0.0	1	1.4	0	0.0	0	0.0	5	6.8	3	4.1	9
		軽(4.6)	36	7	19.4	1	2.8	2	5.6	0	0.0	0	0.0	3	8.3	1	2.8	7
		計	155	19	12.3	1	0.6	4	2.6	0	0.0	1	0.6	8	5.2	7	4.5	21
	13回	特種(8)	3	1	33.3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
合計		642	291	45.3	16	2.5	37	5.8	3	0.5	2	0.3	260	40.5	89	13.9	407	
合計	乗用車	普通乗合(2)	31	4	12.9	0	0.0	4	12.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.2	5
		普通乗用(3)	399	138	34.6	11	2.8	11	2.8	2	0.5	1	0.3	115	28.8	25	6.3	165
		小型乗用(5.7)	822	260	31.6	15	1.8	26	3.2	6	0.7	4	0.5	207	25.2	73	8.9	331
		軽(5.7)	254	122	48.0	6	2.4	18	7.1	0	0.0	0	0.0	103	40.6	35	13.8	162
		計	1,506	524	34.8	32	2.1	59	3.9	8	0.5	5	0.3	425	28.2	134	8.9	663
	貨物車	普通貨物(1)	102	18	17.6	7	6.9	5	4.9	0	0.0	2	2.0	1	1.0	3	2.9	18
		小型貨物(4)	200	33	16.5	5	2.5	6	3.0	0	0.0	2	1.0	15	7.5	7	3.5	35
		軽(4.6)	79	21	26.6	7	8.9	3	3.8	0	0.0	1	1.3	10	12.7	4	5.1	25
		計	381	72	18.9	19	5.0	14	3.7	0	0.0	5	1.3	26	6.8	14	3.7	78
	33回	特種(8)	16	8	50.0	4	25.0	2	12.5	0	0.0	2	12.5	0	0.0	0	0.0	8
合計		1,903	604	31.7	55	2.9	75	3.9	8	0.4	12	0.6	451	23.7	148	7.8	749	

- 注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。  
 2. 不良率: 「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100  
 3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。  
 4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。(内訳 空気圧不足:314件 空気圧過多:137件)  
 5. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアーを含む。

3. 2009年、2010年(1-12月)路上タイヤ点検不良項目別結果比較

社団法人 日本自動車タイヤ協会

道路別	項目		タイヤ整備不良の項目内訳																				
	車種NO.	点検車両中の タイヤ整備不良	タイヤ溝不足			偏摩耗			外傷 (コードに達するもの)			釘・異物踏み			空気圧不適正			その他					
			09年	10年	増減	09年	10年	増減	09年	10年	増減	09年	10年	増減	09年	10年	増減	09年	10年	増減			
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	27.5	12.9	-14.6	10.0	0.0	-10.0	20.0	12.9	-7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	3.2
		普通乗用(3)	30.7	28.9	-1.8	2.5	2.3	-0.2	2.8	2.7	-0.1	0.3	0.3	0.0	0.9	0.3	-0.6	21.8	21.5	-0.3	5.8	3.7	-2.1
		小型乗用(5.7)	29.2	21.9	-7.3	3.3	1.5	-1.8	5.3	1.3	-4.0	0.0	0.7	0.7	0.5	0.5	0.0	20.5	15.0	-5.5	4.7	5.6	0.9
		軽(5.7)	29.3	33.0	3.7	4.8	2.0	-2.8	4.8	6.0	1.2	1.4	0.0	-1.4	0.0	0.0	0.0	19.0	20.0	1.0	6.8	7.0	0.2
		計	29.6	24.8	-4.8	3.5	1.8	-1.7	5.0	2.5	-2.5	0.3	0.5	0.2	0.5	0.4	-0.1	19.9	16.9	-3.0	5.1	5.1	0.0
	貨物車	普通貨物(1)	45.0	23.2	-21.8	16.5	12.5	-4.0	26.6	7.1	-19.5	1.8	0.0	-1.8	3.7	1.8	-1.9	0.9	1.8	0.9	5.5	0.0	-5.5
		小型貨物(4)	32.5	20.5	-12.0	7.1	3.9	-3.2	7.8	3.9	-3.9	0.6	0.0	-0.6	0.0	1.6	1.6	16.9	7.9	-9.0	3.9	3.1	-0.8
		軽(4.6)	27.3	32.6	5.3	6.8	14.0	7.2	9.1	2.3	-6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	11.4	16.3	4.9	9.1	7.0	-2.1
		計	36.2	23.5	-12.7	10.4	8.0	-2.4	14.7	4.4	-10.3	1.0	0.0	-1.0	1.3	1.8	0.5	10.4	8.0	-2.4	5.2	3.1	-2.1
	特種(8)	16.7	53.8	37.1	8.3	23.1	14.8	0.0	15.4	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	-8.3
合計	30.9	24.8	-6.1	5.0	3.1	-1.9	7.1	3.0	-4.1	0.4	0.4	0.0	0.7	0.8	0.1	17.7	15.1	-2.6	5.2	4.7	-0.5		
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		普通乗用(3)	30.3	51.5	21.2	0.0	4.0	4.0	2.4	3.0	0.6	0.6	1.0	0.4	0.0	0.0	0.0	27.3	50.5	23.2	2.4	13.9	11.5
		小型乗用(5.7)	30.3	56.8	26.5	2.7	2.6	-0.1	7.7	7.9	0.2	0.3	0.9	0.6	0.0	0.4	0.4	24.7	51.5	26.8	5.3	17.5	12.2
		軽(5.7)	37.5	57.8	20.3	2.3	2.6	0.3	5.1	7.8	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3	53.9	22.6	7.4	18.2	10.8
		計	32.3	56.0	23.7	1.9	2.9	1.0	5.6	6.8	1.2	0.3	0.6	0.3	0.0	0.2	0.2	27.1	52.1	25.0	5.1	16.9	11.8
	貨物車	普通貨物(1)	16.7	10.9	-5.8	7.1	0.0	-7.1	7.1	2.2	-4.9	2.4	0.0	-2.4	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	6.5
		小型貨物(4)	20.5	9.6	-10.9	8.0	0.0	-8.0	10.2	1.4	-8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	6.8	-1.2	1.1	4.1	3.0
		軽(4.6)	25.6	19.4	-6.2	14.0	2.8	-11.2	9.3	5.6	-3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.3	8.3	-1.0	0.0	2.8	2.8
		計	20.8	12.3	-8.5	9.2	0.6	-8.6	9.2	2.6	-6.6	0.6	0.0	-0.6	0.0	0.6	0.6	6.4	5.2	-1.2	0.6	4.5	3.9
	特種(8)	22.2	33.3	11.1	5.6	33.3	27.7	11.1	0.0	-11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	-5.6
合計	29.7	45.3	15.6	3.5	2.5	-1.0	6.5	5.8	-0.7	0.4	0.5	0.1	0.0	0.3	0.3	22.2	40.5	18.3	4.2	13.9	9.7		
合計	乗用車	普通乗合(2)	27.5	12.9	-14.6	10.0	0.0	-10.0	20.0	12.9	-7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	3.2
		普通乗用(3)	30.5	34.6	4.1	1.6	2.8	1.2	2.6	2.8	0.2	0.4	0.5	0.1	0.6	0.3	-0.3	23.6	28.8	5.2	4.7	6.3	1.6
		小型乗用(5.7)	29.6	31.6	2.0	3.1	1.8	-1.3	6.1	3.2	-2.9	0.1	0.7	0.6	0.3	0.5	0.2	21.9	25.2	3.3	4.9	8.9	4.0
		軽(5.7)	33.7	48.0	14.3	3.4	2.4	-1.0	5.0	7.1	2.1	0.6	0.0	-0.6	0.0	0.0	0.0	25.7	40.6	14.9	7.1	13.8	6.7
		計	30.6	34.8	4.2	2.9	2.1	-0.8	5.2	3.9	-1.3	0.3	0.5	0.2	0.3	0.3	0.0	22.6	28.2	5.6	5.1	8.9	3.8
	貨物車	普通貨物(1)	37.1	17.6	-19.5	13.9	6.9	-7.0	21.2	4.9	-16.3	2.0	0.0	-2.0	2.6	2.0	-0.6	0.7	1.0	0.3	4.0	2.9	-1.1
		小型貨物(4)	28.1	16.5	-11.6	7.4	2.5	-4.9	8.7	3.0	-5.7	0.4	0.0	-0.4	0.0	1.0	1.0	13.6	7.5	-6.1	2.9	3.5	0.6
		軽(4.6)	26.4	26.6	0.2	10.3	8.9	-1.4	9.2	3.8	-5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	10.3	12.7	2.4	4.6	5.1	0.5
		計	30.6	18.9	-11.7	10.0	5.0	-5.0	12.7	3.7	-9.0	0.8	0.0	-0.8	0.8	1.3	0.5	9.0	6.8	-2.2	3.5	3.7	0.2
	特種(8)	20.0	50.0	30.0	6.7	25.0	18.3	6.7	12.5	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	-6.7	
合計	30.4	31.7	1.3	4.5	2.9	-1.6	6.8	3.9	-2.9	0.4	0.4	0.0	0.4	0.6	0.2	19.4	23.7	4.3	4.8	7.8	3.0		

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

2. 不良率:「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100

3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。

4. 「空気圧不適正」の件数は、空気圧不足と空気圧過多の合計である。(内訳 空気圧不足:314件 空気圧過多:137件)

5. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアを含む。